

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 6. 12

下水道機構の『新技術情報』 第287号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今度の日曜日は父の日ですね。大人になって仕事をして家庭をもってみて改めて、感謝の気持ちが強くなりましたが、普段は照れくさくて言葉では伝えられません(笑)。世のお父さん、家族はいつも感謝していますよ！いつもありがとう！お父さん♪今週もお仕事頑張ってるね(^)/

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第287号をお届けします。
業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・6月の技術サロンは、国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究室長の岩崎宏和氏をお迎えして開催しました
- ・「第23回下水道新技術研究発表会」を7/7(金)東京、7/12(水)大阪で開催します

■機構の動き

- ・今週は、行事はありません

■Tea Break

- ・おみやげとマンホール (研究第一部 N.T さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・梅雨シーズン到来！まる子は早稲田・神田川付近でアジサイを楽しんでいます♪

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

- ・今回は、「担当者's VOICE」について紹介します

■国からの情報

- ・6/9付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●6月の技術サロンは、国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究室長の岩崎宏和氏をお迎えして開催しました

今回のテーマは「平成28年熊本地震における管路施設被害の特徴と管路ストックマネジメント導入支援について」でした。岩崎氏は平成9年建設省に入省され、下水道、河川、道路等の部署を歴任後、東日本大震災後には原発事故に伴う放射性物質の対応に携わり、平成23年11月から環境省廃棄物対策課課長補佐として放射性物質を含む下水汚泥等の処理を担当されました。その後、国土交通省下水道事業課企画専門官を歴任され、平成29年4月より現職に着任されご活躍されています。講演内容は、“熊本地震における下水道管路被災の特徴と対策及び地震被害データベース更新版の公開”と“下水管きよ健全率予測式2017、劣化データベースの公開”の大きく2つについてでした。

熊本地震における管路被災の特徴としては、平成9年の耐震指針改定や平成16年の埋戻し3工法の緊急提言がなされた以降に設置された管きよは被災率が低下傾向にあること、推進工法により設置された管きよの被災延長が全体の4分の1に及んだこと、塩ビ管の被災状況として破損も多く発生したこと、などの報告がありました。推進工法により設置された管きよの被災状況は、管きよとマンホールの接合部付近のクラック発生が全体の8割に及んでおり、管きよとマンホールとの構造間の地震応答の違いが原因と考えられ、マンホールの管口に可とう継手を設置することが望ましいとのことでした。また、塩ビ管の破損については、河川に沿って発生している傾向があり、治水地形分類の変化部において大きな変異が発生した可能性があるとのことでした。こうした熊本地震における被災情報を追加し更新された“地震被害データベース”が5月31日に配信されたので、被災時点検の優先順位付けやBCP策定などに是非活用していただきたいとのご案内がありました。

管きよ健全率予測式については、台帳及びTVカメラ調査のデータを12都市から60都市へ大幅に増やし近日公開予定の“劣化データベース”と合わせてストックマネジメントなどに活用していただきたいとのことでした。

本日も講演していただいた内容は、今後発生する確率が高いと想定されている大規模地震への備えや増大し続ける管きよストックを適切に管理するのに大変役立つものとなっており、非常に参考になる興味深いご講演でした。

さて、次回のサロンは、7月13日(木)16:00から17:00での開催となります。ゲストは東京都下水道局計画調整部 エネルギー・温暖化対策推進担当課長 佐藤勝氏をお迎えして開催します(テーマ未定)。テーマが決まり次第ホームページ、メールマガジンへ掲載いたします。

●「第23回下水道新技術研究発表会」を7/7(金)東京、7/12(水)大阪で開催します

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果等の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。

今回の発表会では日本大学 生産工学部 土木工学科 森田弘昭教授(東京会場)、大阪市立大学 複合先端研究機構 中尾正喜特命教授(大阪会場)、国土交通省下水道部の松原下水道事業調整官を特別ゲストとしてお招きし開催いたします。

日本大学の森田弘昭教授は、ベトナムにおける推進工法の展開について、大阪市立大学の中尾特命教授は、下水熱利用の取り組みや事例について、それぞれご講演いただきます。また、国土交通省からは下水道事業に関する最新のホットな情報として、「下水道をめぐる最近の話題」についてご講演いただきます。

当機構からは、昨年4月に発生した熊本地震の際にBCPがどのように機能したか聞き取り調査を実施し、今後の下水道BCPブラッシュアップに向けた課題整理等を行ってきました。そのほか、地方自治体と勉強会方式で行った共同研究について研究第一部より報告を行います。その他、昨年度の主要研究テーマについて、研究第二部より「流出解析モデル活用マニュアルの改定と管路の包括的民間委託促進に向けた支援の取組み」、資源循環研究部より「下水処理場のエネルギー自立化への取組み」と題しその成果、今後の取り組みについて報告いたします。

なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。

1. 開催日時 (東京会場) 平成 29 年 7 月 7 日 (金) 13:00~16:45
(大阪会場) 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 13:00~16:45

2. 開催場所 (東京会場) 東京都港区 発明会館
(大阪会場) 大阪市西区 大阪科学技術センター

3. 定 員 東京会場 250 名、大阪会場 120 名 各会場とも先着順です。

4. 対 象 公共団体、企業等の下水道技術者など

※プログラム、お申込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

○平成 29 年度技術マニュアル活用講習会

【東京会場】日時：平成 29 年 6 月 21 日(水) 13:30~16:30

場所：下水道機構 8 階 中会議室 (東京都新宿区水道町 3-1)

【大阪会場】日時：平成 29 年 6 月 27 日(火) 13:30~16:30

場所：大阪科学技術センター 401 号室 (大阪市西区靱本町 1-8-4)

【参加費】2,000 円 (官公庁、公共団体等は無料)

※1. CD 版の技術マニュアルとテキストを配布いたします。

※2. 参加費は、銀行振込でお願いいたします。振込先は WEB 申し込み時の「参加証」に記載致します。当日会場での参加費お支払いは、ご容赦願います。

【定員】東京会場 80 名、大阪会場 120 名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

○行 事：第 361 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 7 月 13 日(木) 16:00~17:00

ゲスト：東京都下水道局計画調整部

エネルギー・温暖化対策推進担当課長 佐藤勝 氏

テーマ：未定

※テーマが決まり次第ホームページ、メールマガジンへ掲載いたします。

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●おみやげとマンホール (研究第一部 N.T さんからの投稿です)

下水道機構に来て一年過ぎました。東京に来ていろいろなところへ行ってみたくて地図やパンフレットを眺めながらも、なかなか思うように時間がとれず消化不良になっています。

仕事でいろいろな自治体に訪れたり、帰省したりした時に何をお土産にしようかと悩みます。昔は、「名物にうまいものなし」とも言いましたが、昔からの土産も現代風にアレンジされるなど、次から次へとおいしいものが登場しています。また、種類も豊富ですが、B級グルメ並みの変わったアレンジも少なくありません。(味噌をつけるラスク、台湾ラーメン味や手羽先味のお菓子などもありますがいかがですか。)

そんな中で、マンホールカードならぬご当地マンホールストラップ(キーホルダー)というお土産もあります。432円でアメンボマンホールを買いました(自分用ですが)。また、通信販売では、デザインがきれいなものは飾り用のミニマンホールやTシャツなどもあるようです。昔は、ガチャガチャもありましたが、マンホール人気もいろいろなところに広がっていくといいですね。

。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●梅雨シーズン到来！まる子は早稲田・神田川付近でアジサイを楽しんでいます♪

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-6-12>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

。○。

国土交通省では、平成 28 年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。

今回は、アメッジのコンテンツのうち、「担当者’ s VOICE」について紹介します。

●「担当者’ s VOICE」の紹介

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」では、様々なコンテンツを公開しています。今回は、自治体で取り組んでいる浸水対策について、苦労した内容やその克服にどのように取り組んだのかを掲載している「担当者’ s VOICE」について紹介します。

「担当者’ s VOICE」では、現在までに 13 事例の内容を掲載しています。5 月 22 日には福岡市の浸水対策について「再度災害防止へ！博多の男たちの「戦いの軌跡」と題して、雨水整備レインボープラン博多の取組み等を紹介しています。

浸水対策を進めるにあたり、各都市における浸水対策の取組の好事例や苦労した内容、その克服にどのように取り組んだのかを知りたい方は、ぜひ、「担当者’ s VOICE」をご覧ください。

「担当者’ s VOICE」URL : http://shinsui-portal.jp/voice_top/

なお、アメッジ内の一部コンテンツにおいて、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要なものがあります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。

登録画面 URL : <http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.6.9 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

今週、関東地方も梅雨入りになりました。これから雨が気になる時期。無事に乗り

越えたいですね。紫陽花もきれいに咲く季節になりました。

今週、自由民主党の下水道事業促進議員連盟総会が開催され、来年度予算の概算要求に向けて、多くの貴重なご意見をいただきました。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○下水道全国データベースで「事業計画」と「SM通信簿」の公開を開始しました。(下水道事業課)

○第10回「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」の開催(下水道企画課)

=====

○下水道全国データベースで「事業計画」と「SM通信簿」の公開を開始しました。
(下水道事業課)

国土交通省では、持続可能な下水道事業に向けた支援のために、下水道施設情報等を効率的に収集・分析・共有できる「下水道全国データベース(以下、『G-NDP』)という」を運用しているが、今後はG-NDPの更なる利活用を図るため、積極的な情報発信ツールとしても活用し、情報の「見える化」を推進することとしております。

その一環として、この度、平成27年11月の改正下水道法の施行に基づき、決定もしくは変更された「事業計画」及びストックマネジメントの取組状況を点数化した「SM通信簿」について、G-NDPで公開を開始しましたのでお知らせします。

<下水道全国データベースアドレス>

<https://portal.g-ndb.jp/portal/>

※『下水道データ集』で公開しています。

○第10回「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」の開催(下水道企画課)

国土交通省では、施設の老朽化や技術職員減少による執行体制の脆弱化が進む中、下水道の機能・サービスの水準を持続的に確保するため、コンセッション方式等のPPP/PFI手法の導入に向けた好事例の地方公共団体間の横展開を図ることを目的に、平成27年10月に「下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会」を設置しました。このたび、6月5日(月)15時~日本下水道協会において、第10回会議を開催しましたので、お知らせします。

検討会では、成長戦略、骨太の方針、管路の包括的民間委託の事例集や官民連携政策課の補助事業などのPPP/PFIに関する政府の最新動向について、国土交通省より説明を行いました。また、コンセッションについて先進的に取り組んでいる三浦市から取組状況や管路の包括的民間委託の導入を実施・検討している堺市、柏市、富士市から報告があり、意見交換が行われました。

今回から堺市、千葉市、小田原市、松山市、大牟田市、村田町、津幡町が新たに委員に加わっていただいています。本検討会は、今後も2ヶ月に1回程度開催する予定です。参加ご希望の自治体におかれては、国土交通省下水道企画課(梅井)までお問い合わせください。

検討会資料について（第1回～第9回）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000382.html

※検討会メンバー：

いわき市、宇部市、大阪市、大阪狭山市、柏市、かほく市、香美市、河内長野市、黒部市、小松市、高知市、佐野市、塩尻市、須崎市、田原市、多摩市、富山市、奈良市、浜松市、富士市、山元町、三浦市、宇都宮市、熊本市、横浜市、周南市、大分市、赤磐市、堺市、千葉市、小田原市、松山市、大牟田市、村田町、津幡町、秋田県、埼玉県、滋賀県、宮城県（計39自治体、平成29年6月現在）

オブザーバー：日本下水道協会、日本下水道事業団、民間資金等活用事業推進機構

【参考情報】

◆マンホールふたでホットケーキ 倉敷市が下水道事業PRで初披露<6/3 山陽新聞>

<http://www.sanyonews.jp/article/541862>

◆配水塔カード、集めて 名古屋市上下水道局が9種 <6/3 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20170603/CK2017060302000050.html>

◆豊橋市が国内最大規模の複合バイオマス施設を公開、1890世帯分の電力を生
<6/5 スマートジャパン>

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1706/05/news034.html>

◆1000年に一度の豪雨想定 浸水区域見直し 宮城 <6/8 河北新報>

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201706/20170608_11023.html

◆大雨で浸水危機…ドローンで情報収集、京都で水害訓練<6/7 産経WEST>

<http://www.sankei.com/west/news/170607/wst1706070023-n1.html>

◆石塚雨水ポンプ場完成 佐賀市の浸水対策、満潮時も排水可能 [佐賀県]
<6/6 西日本新聞>

<https://www.nishinippon.co.jp/nnp/saga/article/333525/>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
